

JUMP (Japan U.S. Military Program) レセプションの開催

2月16日(火)、フロリダ州タンパ市タンパ港にてJUMP (Japan U.S. Military Program) レセプションを開催しました。

これは、日本国内に10万人を超える米軍関係者の方々が駐在されていることを踏まえ、米軍関係者の方々との連携を強化することを目的とした取組の一環です。タンパ市には、米国中央軍、特殊作戦司令部、マクディール空軍基地などが所在します。

岡庭総領事から東アジアの厳しい安全保障環境や日米同盟に関する最近の動きを紹介し、東日本大震災5周年を控えてトモダチ作戦に対する謝意を米軍関係者の方々に伝えるとともに、「今後とも米軍関係者の方々との絆を大切にしたい」と述べました。

続いて、米軍を代表してバイドラー米国中央軍中将から「沖縄に駐在していた際、トモダチ作戦の第一線に立ち、宮城県気仙沼市で日本国海上自衛隊とともに給油活動に従事したことは印象深い。日本は米国にとって最も重要な同盟国であり、一番のトモダチである」と述べました。

当日は、日本国内の米軍基地に駐在経験のある現役及び退役の米軍関係者にお出でいただきました。また、タンパ市周辺の姉妹都市関係者、日本語教師、JETAA、一部の在留邦人の方々も参加されました。タンパ市周辺の日本に関係のある軍民の関係者90名を超える方々と交流する有意義なレセプションとなりました。

当館としては、今後とも州内各地で同様の取組を実施したいと考えています。当日の会場を提供したタンパ港湾局、当日の手伝いをお願いした在留邦人のみなさまに感謝します。

